

エネルギー構造高度化に向けた事業者による再エネ事業等創出支援業務
公募型プロポーザルにおける質疑回答

令和 8 年 8 月 31 日 回答

番号	質問	回答
1	募集要領「7(1)」において、「※ウ、エ及びキについては、福知山市指名競争入札等参加資格者名簿登載事業者の場合は不要。」との記載がございます。つきましては、現時点で福知山市外の事業者、または貴市の「指名競争入札等参加資格者名簿」に登載されていない事業者(共同企業体の代表事業者または構成員となる場合を含む)であっても、要領に指定された証明書類(市税・国税の納税証明書、法人登記簿謄本、定款等)をすべて提出することにより、本プロポーザルに単独または共同企業体(JV)として参加・応募が可能であるという認識で相違ないでしょうか。	ご認識のとおり、福知山市指名競争入札等参加資格者名簿登録事業者でない場合でも、募集要領3参加資格を全て満たし、かつ募集要領7(1)提出書類に記載されている必要書類を全て添付いただくことで応募が可能です。その後、参加表明書やその他提出書類を本市が確認し、参加資格があることが確認できれば、企画提案者として参加が可能です。
2	仕様書「5(3)」において、市内事業者を対象とした導入可能性調査、ヒアリング、および地産地消・自家消費モデルの提案が定められております。調査体制の設計および経費見積書の積算精度を高めるにあたり、市側で現時点で想定されている以下の点についてご教示いただけますでしょうか。 ①導入可能性調査およびヒアリングを実施する「想定事業所数(規模感)」(例：5～10社程度、重点事業所〇社など)。 ②調査対象事業所の選定にあたり、共創プラットフォーム会員企業等に対する市からの紹介・斡旋があるか、または受託者側で独自に開拓・アプローチを行う想定か。 ③本調査の実施にあたり、市が保有する基礎データ(過去の省エネ診断結果、アンケートデータ、エネルギー消費実態等の情報)の貸与・提供は想定されているか。	①導入可能性調査及びヒアリングの想定事業所数は3～5社程度を見込んでいます。 ②調査対象事業所等の選定にあたっては、本市からプラットフォーム会員等への導入可能性調査などの業務内容についてお知らせする予定ですが、受託者側においても、可能な限りプラットフォーム会員を含む市内事業者や関係機関への訪問などにより情報を集め、調査対象事業者の方針に沿った最適な再エネ導入の手法が提案できるように準備を行っていただきたいと思います。 ③市が保有し、活用が可能なデータは本業務の範囲内において貸与が可能です。

3	仕様書「5(3)」の文中に「発電設備」「再エネ電力」等の記載がございますが、本市の産業部門におけるエネルギー転換や地域資源の活用を推進する観点から、太陽光発電等の電力設備にとどまらず、市内事業所の熱需要に対応する「バイオマスボイラー等の熱利用設備」や「燃料転換（熱の非化石化）」に関する導入調査・提案も本業務の対象範囲に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	バイオマス熱利用や燃料の転換（熱の非化石化）に関する導入調査・提案についても、本業務の対象範囲に含まれます。
4	仕様書「5(4)」において、企業向け・市民向けそれぞれ 2 回程度のハイブリッド開催（会場＋オンライン）、および啓発用チラシ（A4 表裏、2 種類、各 1,000 部程度）の作成が指定されております。会場手配や運営体制の積算にあたり、市側が想定されている「会場での実際の参加者規模（動員目標数：例えば 1 回あたり会場 30 名程度、オンライン〇名等）」や、市が用意する会場の利用可否に関する前提条件がございますらご教示いただけますでしょうか。また、講師謝礼・旅費の負担についてもお考えがあればご教示ください。	開催会場として想定している場所は、福知山駅前の市民交流プラザの「市民交流スペース」であり、会場の定員数は 96 名となっています。 本市としては、なるべく多くの方に参加をいただきたいと考えており、1 回あたり会場参加 60 名程度、オンライン参加 50 名程度を想定しています。（会場の定員数によって想定人数に変更の可能性があります） また、本市が管理する公共施設の会議室等を使用する場合は、予約の手続きを市側で行うことも可能ですが、会場使用料については受託者側で負担いただくことを想定しています。 なお、講師への謝礼金や講師を招へいするための交通費についても、受注者側で負担いただくことを想定しています。

5	仕様書 5(2)④の「テーマ別検討会」について、現時点で設定されている（または設定予定の）テーマ数と、1 テーマあたりの想定参加者数があればご教示ください。	テーマ別検討会については、福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォームで既に設定している「分科会」を想定しています。現在 11 のテーマの分科会が設定されており、所属会員数が一番多い分科会では 25 者が所属しています。 プラットフォームに入会する際に、興味のあるテーマを選んでいただいておりますが、所属数が 0 の分科会もあります。本業務では、発注者と協議の上、関連するテーマでまとめた 5 つ程度の「テーマ別検討会」を開催したいと考えています。参加者数については、プラットフォーム参加者の興味のある分野がそれぞれ違うため、特に想定していません。
6	仕様書 5(2)②の情報発信について、発信頻度（月あたりの本数）と、使用する SNS アカウントの主体（市の公式アカウントか、受注者が新規に開設するものか）についてお考えがあればご教示ください。	情報発信は最低でも週に 1 回程度、月に 4 回程度行っていただきたいと考えています。なお、発信する先はテーマ別検討会（分科会を想定）ごとではなく、プラットフォーム全体等への発信を想定しています。使用する SNS については、現在福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォームでの連絡用で使用する「Slack」を想定しています。その他にも、Slack を使用できない会員等にはメールでの配信や、受注者から原稿をいただいた本市がホームページを通じて、発信するなどを想定しています。
7	企画提案書の 20 ページ以内には、表紙・目次・裏表紙は含まれるという理解でよろしいでしょうか。	表紙・目次・裏表紙についてもページ数に含みます。

8	企画提案書のほかに、会社案内・実績パンフレット等の参考資料を添付することは可能でしょうか。可能な場合、ページ数の制限に含まれますか。	会社案内や実績パンフレット等の参考資料につきましては、添付資料ではなく、企画提案書のページ数に含む形でご準備いただくことが可能です。なお、可能な限り企画提案を行う上で必要となる内容としてください。
---	---	---